

# 清算基金

- 清算基金とは、各清算参加者のポジションについて、「極端ではあるが現実に起こりうる市場環境下（ストレス状態）」において発生しうる損失額（ストレス時リスク相当額）が当初証拠金所要額を超過する額（担保超過リスク額）を算出し、当該超過リスク額が上位となる清算参加者2社（その関係会社等(\*1)に該当する他の清算参加者を含む。）が同時に破綻した場合の損失をカバーするものです。

(\*1) 清算参加者の子会社及び関連会社並びに当該清算参加者の親会社、当該親会社の子会社及び当該親会社の関連会社をいいます。

## 概要

## 預託方法

## 算出方法

- 清算参加者破綻時に当該清算参加者の当初証拠金を越える損失が発生した場合に備えて事前に担保として預託いただくもの。
- 清算基金はストレス時のリスク額の上位2社が破綻した場合を想定し、算出。

### 【預託方法】

- 現金又は代用有価証券（国債・米国債）で預託

### 【預託タイミング】

- 毎営業日19時時点のポジションに基づき算出された清算基金所要額を満たす額について、翌営業日14時までに預託

- ストレスシナリオ毎に清算参加者の担保超過リスク額を算出し、当該担保超過リスク額の上位2社の合計額が最大となるシナリオにおける当該合計額を、全清算参加者の各当初証拠金所要額（割増後）に応じて按分（＝清算基金所要額）(\*2)。
- ストレスシナリオは、以下の方法により作成。

### (a)ヒストリカルシナリオ

過去に極端な市場変動が観測された時期の金利変動等をストレスシナリオとする。

### (b)仮想シナリオ

主成分分析により抽出した、各通貨固有のリスク特性を反映した金利変動等を通貨ごとのストレスシナリオとする。また、主成分分析の応用により抽出した、複数通貨横断的なリスク特性を同時に捕捉した金利変動等をストレスシナリオとする。

### (c)イールド・カーブ間のベースリスクに対応するシナリオ

イールド・カーブ間のベースの拡大及び縮小が観測された時期の金利変動をストレスシナリオとする。

(\*2) 清算基金所要額は、算出した相当額と1億円（最低所要額）のうちいずれか大きい額。